



平成 31 年 1 月 29 日

各 位

会 社 名 木 徳 神 糧 株 式 会 社  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 平 山 惇  
( コ ー ド 番 号 : 2 7 0 0 )  
問 合 せ 先 取 締 役 常 務 執 行 役 員  
管 理 部 門 統 括 稲 垣 英 樹  
電 話 番 号 0 3 - 3 2 3 3 - 5 1 2 1

## 業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、以下のとおり、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 30 年 11 月 8 日の平成 30 年 12 月期第 3 四半期決算発表時に開示した平成 30 年 12 月期通期(平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

### 1. 通期連結業績予想数値の修正 (平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	110,000	750	760	500	306.94
今回発表予想 (B)	114,340	800	825	260	159.03
増減額 (B - A)	4,340	50	65	△240	
増減率 (%)	3.9	6.7	8.6	△48.0	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 12 月期)	105,411	649	715	875	535.37

※ 当社は、平成 30 年 7 月 1 日を効力発生日として、普通株式 5 株につき 1 株の割合で株式併合を実施しております。

このため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算定しております。

### 2. 修正理由

売上高については、主力の米穀事業において国産米の取引価格が 4 年連続前年同期を上回る水準で推移したこと、ミニマム・アクセス米の取扱数量が前年同期と比べ大幅に増加したことに加え、単価の高い国からの輸入が多かったこと等から前回発表予想を上回る見込みです。

また、営業利益および経常利益についても、業務用向けの低価格米の調達難が継続しているなか、仕入価格の上昇に伴う販売価格の改定に注力するとともに、コスト削減に取り組んだことが奏功し、前回発表予想を上回ると見込んでおります。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益については、連結子会社である低たんぱく質米を製造販売する台湾木徳生技股份有限公司 (以下「台湾木徳」と称す) において、製造設備の本格稼働の遅れが長引き、台湾および中国市場における販売が計画に比べ大幅に遅れたことから、台湾木徳の固定資産に係る減損処理による損失が発生したため、前回発表予想を大幅に下回る見込みです。

(注) 本業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、様々な要因の変化により実際の業績とは大きく異なる場合があります。さらに業績に影響が生じる場合は、判明次第お知らせいたします。

以上